

【事業名】 製造業の交替制勤務に共通する健康課題に対応できる特定保健指導の共同実施

【代表組合名】 三菱鉛筆健康保険組合 【参加組合数】 8組合

本事業が 求められる 背景

ライン作業に従事する交替制勤務者は食事時刻が変動することによって欠食が増加すること¹⁾、虚血性心疾患死亡リスクが高まること²⁾などが指摘されており、交替制勤務に係る健康課題への対策は必須になっている。

1) 福村智恵(2015)「男性交代制勤務者における身体状況と生活時間および食事摂取状況の関連性」産業衛生学雑誌2015; 57(6); 286-296.

2) Fujino Y, et al:Am J Epidemiol. 2006.

本事業の 目的

交替制勤務対象者が含まれる製造業の健保加入者のうち、特定保健指導該当者を対象に、**勤務時間帯が個人ごとに異なる勤務体系に対応可能な特定保健指導を複数健保で共同で実施**し、その成果を検証することによって、交替制勤務にも対応できる共同実施モデルを構築する。

実施内容

健診時期や健診データ回収時期の違いから、特定保健指導はスケジュールを共通化しづらく、共同実施がなかなか進んでいないのが実状である。そのため本事業では、実施時期を第1期／第2期の2回に分けることにより、事業所や工場ごとに健診スケジュールが異なる健保でも参加しやすいスキームで実施する。

<事業の流れ（第1期／第2期とも同様）>

- ① 対象者に**コンソーシアム参加健保共通のプログラム説明資料**を配布
- ② 初回面接：**遠方の工場でも対応可能な遠隔型と対面型を併用**
- ③ 継続支援：会社メールアドレスを保有していないライン作業でも自身の端末で利用可能であり、かつ**交替制勤務者でも自身のペースで進められるICTを活用したプログラム（減量キャンペーン型特定保健指導モデル実施*）による介入**
 - ・事務局から健康情報、体重・腹囲計測リマインドメールを配信
→**生活サイクルの異なる交替制勤務者に配慮した健康コラム、交替制勤務に伴う生活習慣の乱れのリスク**（生活習慣と虚血性心疾患死亡リスクの関係等）
→**交替制勤務者にも支障が出ないように、参加者本人が介入メールの配信時間帯を勤務時間帯や就寝時間帯に応じて設定が可能**（例：8時 or 12時 or 18時）
 - ・週1回の体重・腹囲報告 ⇒ポイント獲得
 - ・▲2kg・▲2cm達成で賞品GET!
- ④ 評価：▲2kg・▲2cm達成者の抽出
- ⑤ 共同実施の手順やノウハウ、留意点等をコンソーシアムにおいて共有し、報告書として取り纏め

*本事業の継続支援においては、平成30年度「レセプト・健診情報等を活用したデータヘルスの推進事業」に採択され、中小規模の健保における効率的な共同実施モデルとして評価を得ている「減量キャンペーン型特定保健指導モデル実施」をカスタマイズ利用します。

本事業の特長

- ① 本事業に参加する健保の条件として、財政面及び職員数の面等で新たな保健事業に着手しづらい **中小規模（加入者1万人未満）の健保のみに限定**
- ② 交替制勤務に従事する **対象者本人のスケジュールに合わせた介入**
（例：本人がメール等の送信時刻を指定可能）
- ③ 特定保健指導の実施方法として、昨年度「レセプト・健診情報等を活用したデータヘルスの推進事業」において中小規模健保の効率的かつ総コストを抑制できる共同実施モデルとして成果を得られた「減量キャンペーン型特定保健指導モデル実施」を採用しており、**本補助金を活用して構築された共同実施モデルの活用事例として位置づけられる**
- ④ 健保連神奈川連合会が推進する「共同保健事業」が事業基盤となっており、本年度のみならず、**次年度以降に共同実施モデルを横展開することを前提とした体制を構築済み**（加えて本事業のコンセプトに賛同する神奈川県外健保も参画しており、他県への拡大も見据えている）

実施スケジュール



コンソーシアム構成メンバー

健康保険組合：三菱鉛筆健康保険組合（代表）、
アマダ健康保険組合、I-アクト I-マテリアル健康保険組合、
ミクニ健康保険組合、石塚硝子健康保険組合、
CKD健康保険組合、ミドリ安全健康保険組合、
サンデン健康保険組合

健康保険組合連合会：健康保険組合連合会神奈川連合会

ヘルスケア事業者：パーソルワークスデザイン株式会社（特定保健指導機関）
一般財団法人日本健康増進財団（特定保健指導機関）
株式会社インサイト（事務局）

$$\frac{\text{加入者1万人未満} \mathbf{8} \text{健保}}{\text{参加} \mathbf{8} \text{健保}} = \mathbf{100\%}$$